

見つめ直そう～創業の精神は企業の根底～

見つめ直そう～創業の精神は企業の根底～

I. 創業の精神とは何か

企業は社会ニーズの中から生まれる。社会が必要としている限り、存在価値を有する。社会のニーズに応えるための基本的な考えが、即ち創業の精神である。したがって、創業の精神は世の中がどのように変わっても、人間が存在する限り変わらない奥深いものでなければならない。

日本の企業の多くは戦後に生まれたものが多い。当時は極端なものの不足のため、どんな粗悪品でもつくれば売れた時代である。粗悪品でも無いよりはましであったので、それなりに企業としての存在価値はあったと言える。

しかし、この時、品質の悪い粗悪品を求めたのは人間の本来の欲求ではなく仮りの姿であったから、やがて“もの”が充足されると“間に合せ”のものをつくっていた企業は姿を消して行った。

食品会社の中には、世間におもねることなく、創業以来、終始一貫して「本物の味」を極めて提供し続けてきた企業も少なからずある。原材料が思うように入手できず、生産に支障を来すことがあっても、不本意な原材料に安易に手を出さなかったのは、創業の精神の重みと言えよう。

創業の精神を一言で言い表わすならば、

社会に貢献する企業の根底をなす考え方

ということが出来る。

II. 創業の精神の継承

創業者にとって創業の精神とは、事業そのものであり、自分自身であり、自分が体で感じ取ってきたものである。したがって、文字や言葉で簡単に表現できるものではない。

しかし、社員が増えてくると何らかの形に表わし、伝えていくことが必要になった。それらを形にしたものが社是であり、経営理念である。もう少し咀嚼したものは、社員憲章、社員訓のような形で表わされる。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。